

# 無線式リモートコントロールスイッチ

【RC - 82】

取扱説明書

V1.80



# 目次

第1章. お使いになる前に.....	1
1 - 1. はじめに.....	1
1 - 2. 付属品.....	1
1 - 3. 安全上のご注意(必ずお読み下さい).....	2
1 - 4. 概要.....	5
1 - 5. 仕様.....	6
1 - 6. 各部の名称とはたらき.....	7
1 - 6 - 1. 送信機.....	7
1 - 6 - 2. 受信機.....	8
1 - 7. 寸法図.....	9
1 - 8. 設置方法.....	10
1 - 8 - 1. 送信機の設置.....	10
1 - 8 - 2. 受信機の設定.....	10
1 - 8 - 3. 受信機出力端子への接続.....	10
1 - 8 - 4. ID変更方法.....	11
第2章. 使い方.....	14
2 - 1. 使い方.....	14
2 - 2. ボタン操作と出力の関係.....	14
第3章. 取扱上の注意.....	15
3 - 1. 取扱上の注意事項.....	15
3 - 2. トラブルシューティング.....	15
3 - 3. おかしいな?と思ったら.....	16
3 - 4. 保証.....	17

## 第1章. お使いになる前に

### 1 - 1. はじめに

この取扱説明書には、本製品の概要、設置及び操作など、本製品をお使いいただく上で必要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前によくお読み下さい。また、いつでもご利用頂けますよう大切に保管して下さい。

### 1 - 2. 付属品

送信機 RC - 82T

- ・送信機本体 × 1
- ・ACアダプタ(AC100V / DC5V) × 1  
(充電用)



受信機 RC - 82R

- ・受信機本体 × 1
- ・ACアダプタ(AC100V / DC5V) × 1  
(電源供給用)
- ・ホイップアンテナ TK1601 × 1本

### 1 - 3 . 安全上のご注意(必ずお読み下さい)

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

### **注意**

本機の取り扱いについて

本機は、精密部品で作られた無線通信機器です。分解・改造はしないで下さい。事故や故障の原因となります。



使用環境及び保管環境について



下記の場所での使用及び保管は故障や誤動作、特性劣化、火災・感電の原因となることがありますので避けて下さい。

- ・直射日光のあたる場所での使用及び保管
- ・製品内に液体や異物、腐食性ガスか可燃性ガスが入る可能性のある場所での使用及び保管
- ・湿気の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所での使用及び保管
- ・ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所での使用













## 警告

### 本機の取り扱いについて

人命にかかわるような極めて高い信頼性を要求される用途には、ご使用にならないで下さい。	 禁止
電波が届くか届かない曖昧な範囲ではご使用にならないで下さい。	 禁止

### 電源の取り扱いについて

ACアダプタ・電源コードの発熱、破損、発火などの事故防止のため、次のことは必ずお守り下さい。

ACアダプタ・電源コードを火に近づけたり、火の中に入れて下さい。ACアダプタ・電源コードが破裂・発火して事故の原因になります。	 禁止
ACアダプタ・本体は、破損・発火事故防止のため、指定された電源電圧以外では使用しないで下さい。	 禁止
濡れやすい場所で、ACアダプタ・本体を使用しないで下さい。発熱・発火・感電などの事故や故障の原因となります。	 禁止
濡れた手でACアダプタ・本体・電源コード・コンセントに触れないで下さい。感電などの事故の原因となります。	 禁止
電源コードを破損させないで下さい。ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	 禁止
電源プラグにほこりが付着したままで使用しないで下さい。ショートや発熱により火災や感電の原因になります。	 禁止
ACアダプタに強い衝撃を与えないで下さい。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止
ACアダプタの変形などに気づいたら、使用しないで下さい。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止
引火性ガスが発生する場所では、本体を充電しないで下さい。発火事故などの原因になります。	 禁止
絶対にACアダプタを分解しないで下さい。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止

使用中に異常が発生したときは

火災・感電等の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いて販売店 又は弊社に修理を依頼して下さい。

煙が出たり、変なおいがあるときは使用を中止し、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社に修理を依頼して下さい。



電源コードや電源スイッチが傷んだら使用しないで下さい。  
そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



#### 無線通信の信頼性について

無線通信は有線通信と異なる性質があり、下記要因により通信エラーが発生することがあります。

- ・通信距離を越えてしまっている。
- ・デッドポイントに入ってしまった。
- ・強い妨害電波がある。

頻繁に妨害される場合、また、妨害されることが運用上問題である場合は、使用を中止し妨害の原因を排除してからご使用下さい。

また、上記要因以外にも電波を受信できない状況が発生することがありますので、予めご理解の上、御使用下さい。

デッドポイントとは、送信機から発信された電波が壁などで反射された電波に影響され電波が極端に弱くなる範囲のことです。

**同じチャンネル(周波数)の送信機2台以上から同時発信する場合、受信機で受信できない場合があります。無線伝送している周波数の干渉による現象のため、ID設定を異なる設定にしても同症状を解決することはできません。**

## 1 - 4 . 概要

この度は、リモコンスイッチ「RC - 82」をお買い上げいただき、誠に有難うございます。

この取扱説明書は、RC - 82をお使いいただくために必要な内容を述べてあります。ご使用前にお読みいただき、正しくお使い下さい。

RC - 82は、離れた場所から無線で2点のスイッチを制御するための装置です。受信機につながった装置・機械等を、送信機のスイッチを押して作動、停止することができます。本機はスイッチ信号を送送する送信機1台と、受信したスイッチ信号に応じて端子台へ出力する受信機1台から構成されています。

出力はリレーの3出力回路を持ち送信機の押しボタンスイッチにそれぞれ対応する2つの出力と送信機の2つの押しボタンスイッチのうち1つをON - OFFとしたとき出力し出力状態を保持、他の1つの押しボタンのON - OFFで解除とする出力を持ちます。

電源はACアダプタ(5V出力)

本装置は、微弱無線を利用しているため、免許や資格は必要ありません。

スイッチ信号を送送する送信機は、コンパクトで携帯可能な軽量タイプになっています。

送信機にはバッテリーチェック機能があり、バッテリー充電時期の確認が可能。

受信機のケース寸法はコンパクトなため、制御盤等に組み込むには大変便利です。

誤り検定方式は14ビットフレームの3連送照合方式をとっているため、誤動作の少ない信頼性の高い通信が得られます。



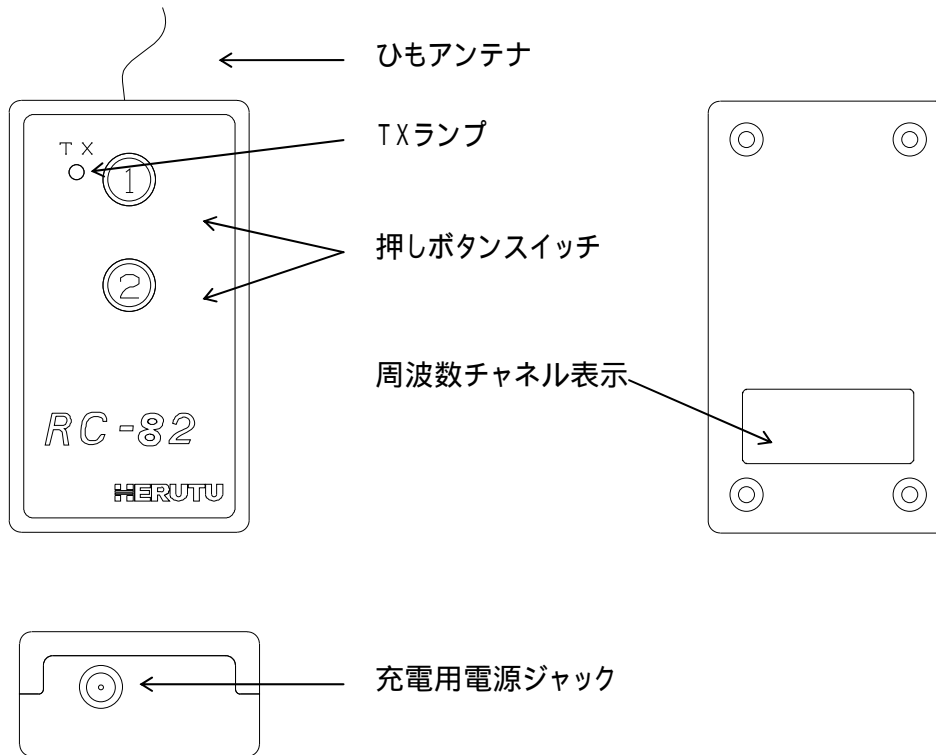
## 1 - 5 . 仕様

項目	仕様	
型式	RC - 82T	RC - 82R
入力	押しボタンスイッチ 2点	-----
出力	-----	リレー出力 3点 定格負荷 AC125V 0.5A DC24V 1A
表示	赤色LED (送信時点灯用 / 電源チェック用)	緑色LED × 1 (電源用) 赤色LED × 3 (リレー出力用)
ID設定	8ビットディップスイッチによる(8ビット目は固定 / 出荷時設定)	
アンテナ	約20cmのひもアンテナ	ホイップアンテナ(BNCコネクタ)
動作電源 電圧	ACアダプタによるトリクル充電方式 ニッケル水素 3.6V120mA	DC5V (専用ACアダプタ使用 DC5V400mA)
充電時間	約15時間(専用ACアダプタ使用)	
消費電流	スタンバイ時 1μA 送信時 約10mA	スタンバイ時 30mA 受信時 90mA ホールド時 60mA
使用温湿度 範囲	0 ~ 50 25 ~ 85%以下(結露なきこと)	
寸法	50W × 26H × 90Dmm	103W × 27H × 88Dmm (突起物含まず)
重量	約95g	約275kg
使用周波数	VHF帯 FM変調単向通信方式	
通信距離	約30m(通信距離は使用環境により異なります)	

\* 付属の専用ACアダプタを使用しない場合はDC5V400mAを安定供給して下さい。

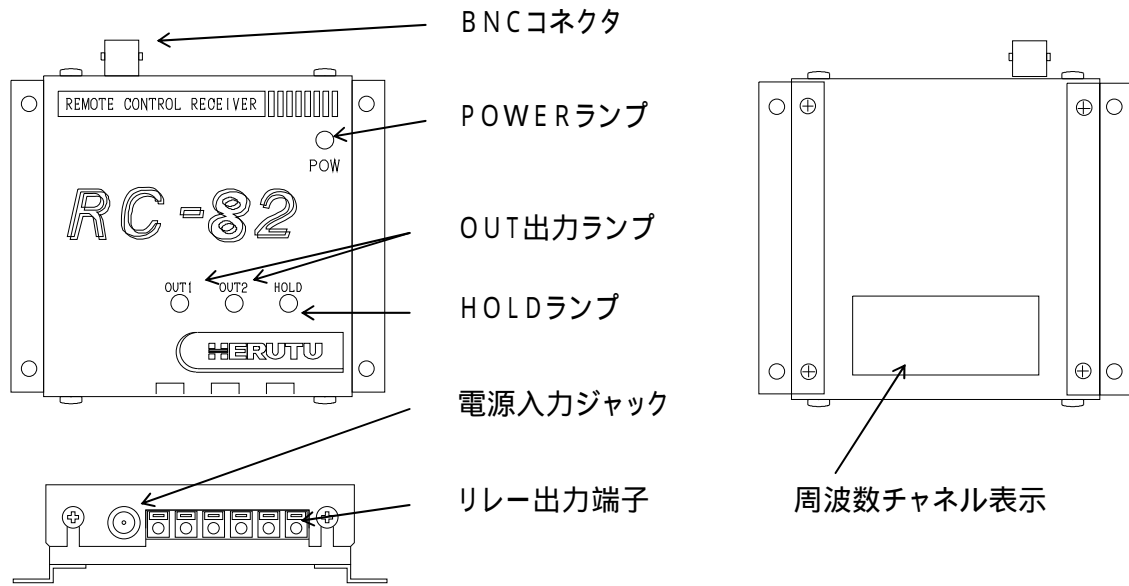
## 1 - 6 . 各部の名称とはたらき

### 1 - 6 - 1 . 送信機



項目	内容
ひもアンテナ	送信用アンテナです。
TXランプ	押しボタンを押したとき点灯し電波の送信中を表します。 (バッテリーの電圧が低下しているときは点灯しません)
押しボタンスイッチ	送信用押しボタンスイッチです。押されている間そのボタンに対応したコード付けをされた電波を送信します。
周波数チャンネル表示	使用周波数を当社の名称で表示してあります。同一の周波数の受信機とセットになります。又、機器Noの表示もしてあります。
充電用電源ジャック	バッテリーの電圧が低下したとき付属のACアダプタを差し込んで充電します。

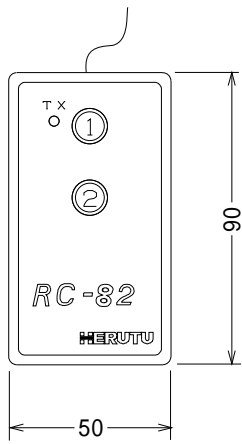
## 1 - 6 - 2 . 受信機



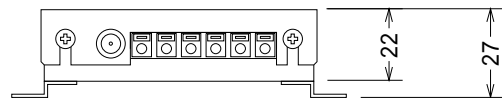
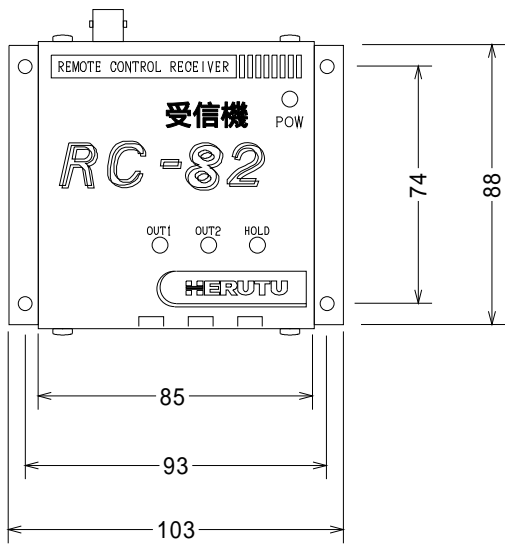
項目	内容
BNCコネクタ	付属のアンテナを取り付けて下さい。
POWERランプ	電源ONで点灯します。
OUT出力ランプ	リレー出力時に点灯します。
HOLDランプ	リレー出力時に点灯します。
電源入力ジャック	付属のACアダプタを接続して下さい。
リレー出力端子	送信機の押しボタンスイッチ信号により、出力端子へリレー出力します。
周波数チャンネル表示	使用周波数を当社の名称で表示してあります。同一の周波数の送信機とセットになります。また、機器 の表示もしてあります。

# 1 - 7. 寸法図

## 送信機



\*アンテナ長 約20cm



## 1 - 8 . 設置方法

### 1 - 8 - 1 . 送信機の設置

ご使用前に付属のACアダプタで充電を行って下さい。

ひもアンテナは手の中に丸め込んだりしないで下さい。

注) 送信機を固定して設置する場合は、受信機側の受信状態が良好なことを確認した上で位置を決めて下さい。

### 1 - 8 - 2 . 受信機の設定

BNCコネクタに付属のアンテナを取り付けて下さい。

送信機側から見通しが良く、電波を安定して受信できる場所へ、取り付け金具を利用して設置して下さい。

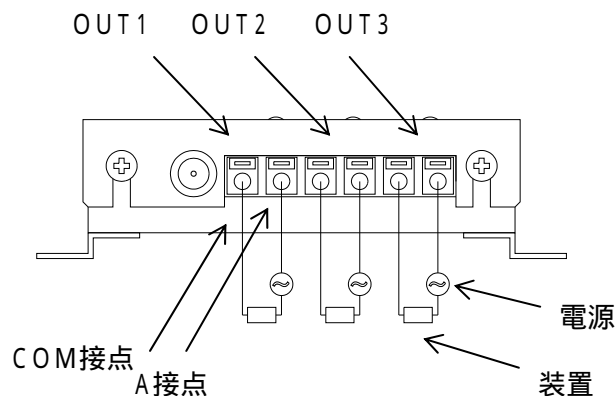
付属のACアダプタを接続していただくと電源が入ります。

送信機を送信予定範囲の中で押しボタンスイッチを押して下さい。受信機のOUT出力ランプの点灯で動作確認ができます。

ACアダプタを外し受信機とお客様側の機器を接続して下さい。

ACアダプタを接続して下さい。

### 1 - 8 - 3 . 受信機出力端子への接続



注) 各出力端子は送信機のスイッチ信号毎に定められています。

スイッチ1の信号はOUT1とHOLDへリレー出力します。

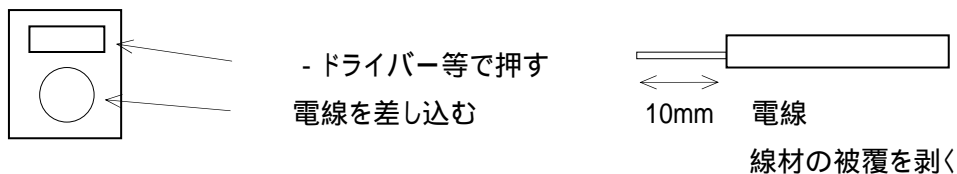
スイッチ2の信号はOUT2とHOLDへリレー出力します。

詳細は、6 - 1使用例をご参照下さい。

リレー出力はCOM 接点 / a接点そのまま端子台に出力しています。

(内部接続はされていません)

端子への接続方法は下記の手順にて行って下さい。



の部分 - ドライバー等で押したままの部分に装置の電線を10mm程差し込んで下さい。差し込みが終わったらの部分から - ドライバーを離して下さい。

使用可能電線 単線 0.4 ~ 1.0(AWG26 ~ 18)

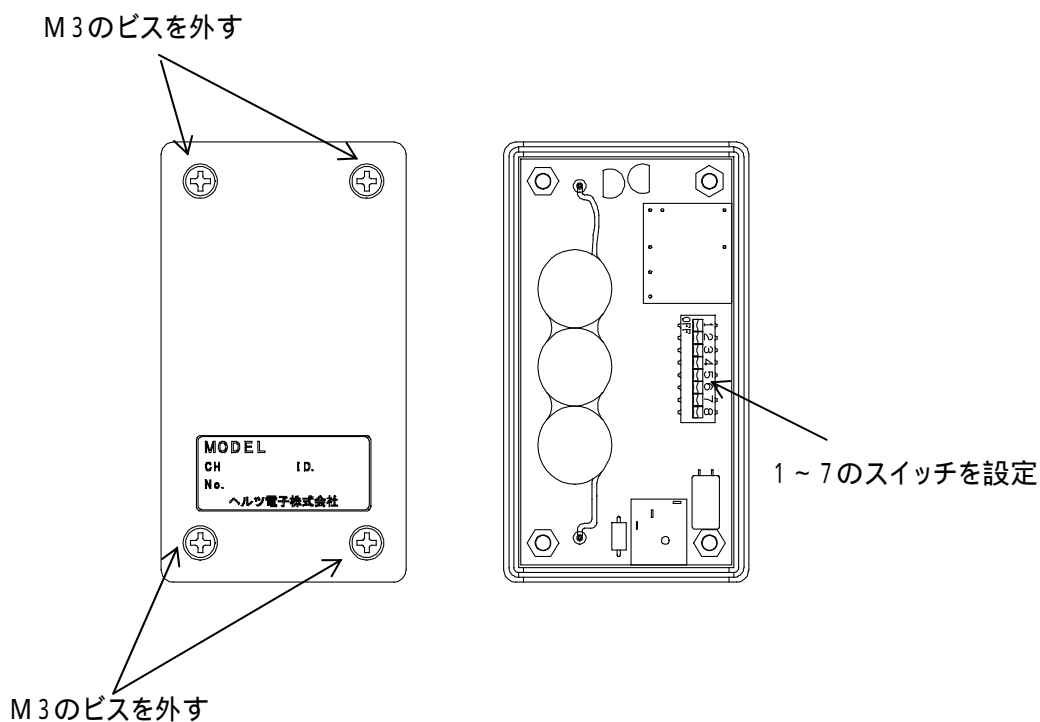
燃線 0.3mm ~ 0.75mm(AWG22 ~ 20) 素線径 0.18 以上

#### 1 - 8 - 4 .ID変更方法

本機は、出荷時にIDを設定していますので通常は必要ありません。予備機等お持ちで設定変更の必要がある場合などは以下の方法で設定を変更してください。

##### 1) 送信機

- ・裏面のM3ビス4本を抜いてケースを外してください。(アンテナ線を切断しないようご注意ください)
- ◇ ディップスイッチの1~7でIDを設定します。スイッチ8はNCとなっていますのでIDは128通りの設定が可能です。



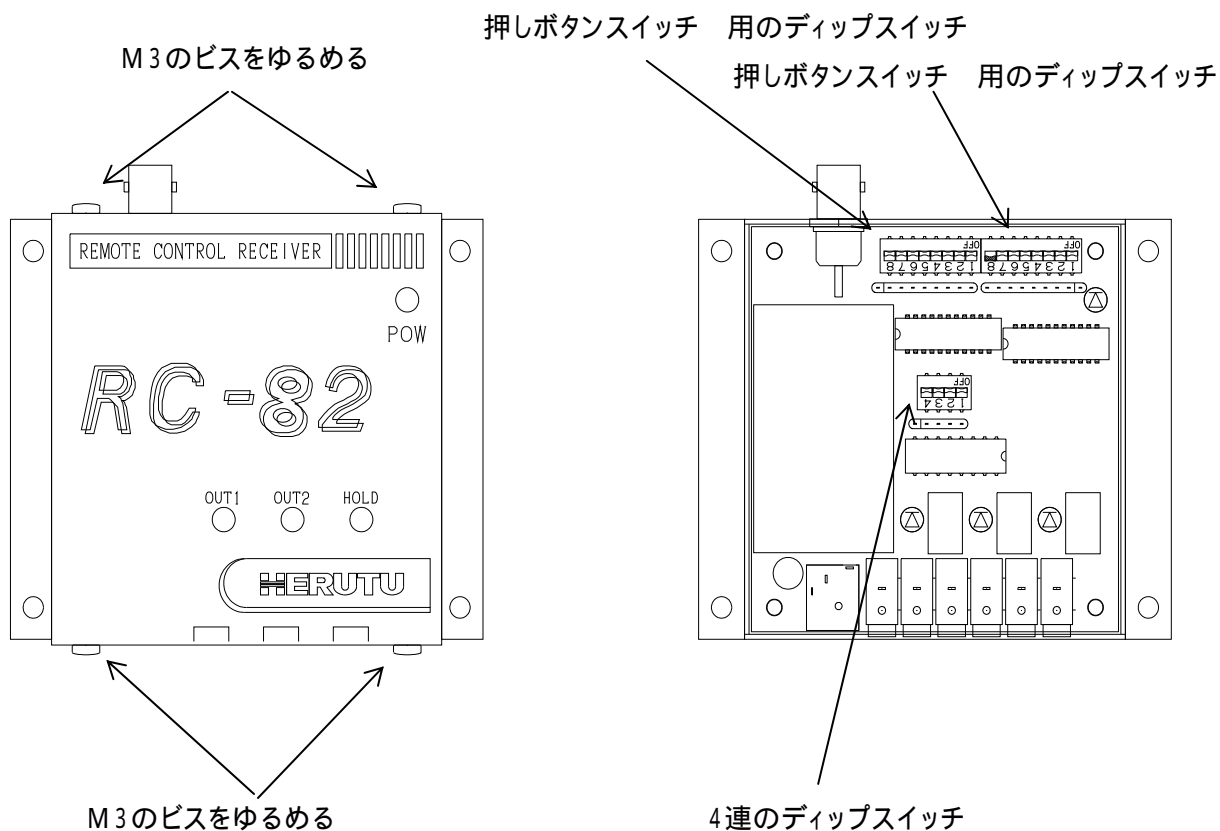
- ・アンテナ線を噛まないようにケースをかぶせ、M3のビスで止めます。

## 2) 受信機

- ◇ M3のビス4本をゆるめて上ケースを外してください。
- ◇ 基板上的8連のディップスイッチ2個で送信機押しボタンスイッチ に対応したIDを設定します。

下図の上側がスイッチのOFF位置となっていますのでご注意ください。

- ◇ ・とも1～7までは送信機と同一の設定とします。
- ◇ スイッチ8は がOFF、 がONのまま変更しないでください。
- ◇ 4連のディップスイッチは全てOFFのまま変更しないでください。



- ◇ 上ケースをかぶせ(LEDを曲げないようにご注意ください) M3のビス4本で固定します。

## 3) 動作テスト

- ◇ 送信機のボタンスイッチを押し「2-2 ボタン操作と出力の関係」の表の動作が確認出来れば設定は終了です。

#### 4) ID設定一覧表

ID番号	DIP SW 1~7	ID番号	DIP SW 1~7	ID番号	DIP SW 1~7	ID番号	DIP SW 1~7
0	0000000	40	0001010	80	0000101	120	0001111
1	1000000	41	1001010	81	1000101	121	1001111
2	0100000	42	0101010	82	0100101	122	0101111
3	1100000	43	1101010	83	1100101	123	1101111
4	0010000	44	0011010	84	0010101	124	0011111
5	1010000	45	1011010	85	1010101	125	1011111
6	0110000	46	0111010	86	0110101	126	0111111
7	1110000	47	1111010	87	1110101	127	1111111
8	0001000	48	0000110	88	0001101	103	1110011
9	1001000	49	1000110	89	1001101	104	0001011
10	0101000	50	0100110	90	0101101	105	1001011
11	1101000	51	1100110	91	1101101	106	0101011
12	0011000	52	0010110	92	0011101	107	1101011
13	1011000	53	1010110	93	1011101	108	0011011
14	0111000	54	0110110	94	0111101	109	1011011
15	1111000	55	1110110	95	1111101	110	0111011
16	0000100	56	0001110	96	0000011	111	1111011
17	1000100	57	1001110	97	1000011	112	0000111
18	0100100	58	0101110	98	0100011	113	1000111
19	1100100	59	1101110	99	1100011	114	0100111
20	0010100	60	0011110	100	0010011	115	1100111
21	1010100	61	1011110	101	1010011	116	0010111
22	0110100	62	0111110	102	0110011	117	1010111
23	1110100	63	1111110	103	1110011	118	0110111
24	0001100	64	0000001	104	0001011	119	1110111
25	1001100	65	1000001	105	1001011	120	0001111
26	0101100	66	0100001	106	0101011	121	1001111
27	1101100	67	1100001	107	1101011	122	0101111
28	0011100	68	0010001	108	0011011	123	1101111
29	1011100	69	1010001	109	1011011	124	0011111
30	0111100	70	0110001	110	0111011	125	1011111
31	1111100	71	1110001	111	1111011	126	0111111
32	0000010	72	0001001	112	0000111	127	1111111
33	1000010	73	1001001	113	1000111		
34	0100010	74	0101001	114	0100111		
35	1100010	75	1101001	115	1100111		
36	0010010	76	0011001	116	0010111		
37	1010010	77	1011001	117	1010111		
38	0110010	78	0111001	118	0110111		
39	1110010	79	1111001	119	1110111		

1:ON 0:OFF で表示してあります

表ではスイッチ8はOFFで表示していますが、受信機の の  
ディップスイッチは全てONとして下さい



## 第2章. 使い方

### 2 - 1. 使い方

受信機の端子への接続方法により2通りの使用方法ができます。

1) OUT1、OUT2の出力端子を利用する場合

送信機のスイッチを押している間のみ出力はONとなります。

送信機の1を押した場合、OUT1がONになります。

送信機の2を押した場合、OUT2がONになります。

2) HOLD出力端子を利用する場合

出力を保持したい場合に使用します。

送信機のスイッチ1を押した場合、HOLDがONとなり保持されます。

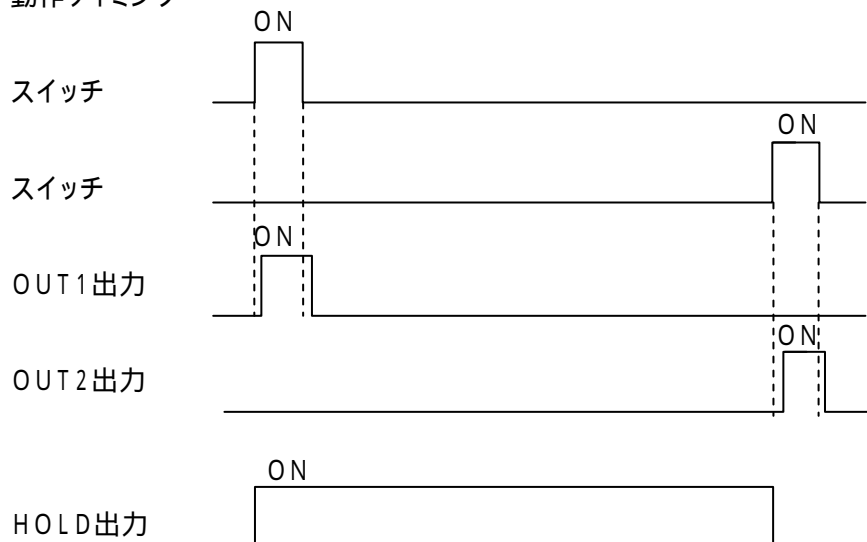
送信機のスイッチ2を押すことにより解除されます。

### 2 - 2. ボタン操作と出力の関係

スイッチ操作	出力端子	リレー出力
を押す	OUT1	ON
	HOLD	ON
を離す	OUT1	OFF
	HOLD	ON
を押す	OUT2	ON
	HOLD	OFF
を離す	OUT2	OFF
	HOLD	OFF

受信を確実にするためにスイッチは1秒以上の間、押して下さい。

#### 動作タイミング



## 第3章 . 取扱上の注意

### 3 - 1 . 取扱上の注意事項

1, 2 何れかのスイッチを押したとき、送信機のTXランプが点灯しない場合はバッテリー不足です。から付属のACアダプタで充電して下さい。

送信機のひもアンテナを切断したり手の中に丸め込んだりしないで下さい。

通信距離が短くなる恐れがあります。

受信機のロッドアンテナに無理な力を加えないで下さい。内部が破損する恐れがあります。

本製品はニッケル水素蓄電池を使用しております。長期間ご使用にならない場合には、3カ月～6カ月に1回以上、本製品を充電して下さい。バッテリーの性質上、充電されにくくなったり、寿命が短くなる場合があります。

### 3 - 2 . トラブルシューティング

症状	原因と対策
送信機の(1, 2)何れかのスイッチを押したとき、TXランプが消えている	バッテリー不足です。
	付属のACアダプタで充電して下さい。
送信機のひもアンテナが切断されている	電波が送信できません。
	アンテナを修理・交換する必要があります。ご購入先または弊社営業部までご連絡下さい。
通信できない	受信機のアンテナが接続されていない。
	アンテナはBNCコネクタのストッパーの位置まで回して確実に接続して下さい。
	電波の到達範囲外で使用している
	送信機からの電波が到達する範囲内でご使用下さい。遠距離の場合、または非常に見通しの悪い場合はオプションの受信機用外部アンテナのご使用をお勧めします。
受信機の電源が入らない	電源が供給されていない
	電源入力ジャックに専用のACアダプタ(DC 5V)を接続し電源を供給して下さい。
受信機が出力しない	OUT出力ランプが点灯していても出力しない
	リレー出力の異常が考えられます。ご購入先または弊社営業部までご連絡下さい。

### 3 - 3 . おかしいな?と思ったら

正常な状態でご使用中に、万一機器の異常が確認されたときには、「3 - 2 . トラブルシューティング」をご覧ください。対策を行っても現象が改善されない場合や、対策方法が不明の場合は

製品名・製造番号・使用環境  
接続している外部機器  
異常発生までの処理手順  
具体的な発生内容など

を、お買い上げの販売代理店、または弊社営業部までお問い合わせ下さい。

ご使用になられる方がユニットを分解・改造して使用することは、法律で禁止されており、罰せられることがあります。

### 3 - 4 . 保証

本規定はお買い上げになられた製品を安心してご利用いただけるよう出荷後の保証について弊社が定めたものです。弊社製品が故障した場合は、この規定に基づき修理・交換いたします。

#### 保証期間

保証期間は他に定めのない限り弊社からの製品出荷後13ヵ月となります。

保証期間内は、保証規定の定めにより弊社にて無償修理致します。

保証期間中の修理やアフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業部までご相談下さい。

#### 保証範囲

上記範囲内に当社の責任による故障が発生した場合は、無償での代替品との交換または修理をさせていただきますので、お買い上げの販売店、または弊社営業部にお申し出下さい。なお、代替品との交換または修理を行った場合の保証期間は対象製品の当初出荷日から13ヵ月又は代替品出荷から6ヵ月のいずれか遅く訪れる日までとします。また保証範囲は、本製品のハードウェアに限らせていただきます。

保証期間内においても以下の各号に該当する場合には保証の対象外とさせていただきます。

1. お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等、お客様のお取扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合。
2. お客様による本体の分解や改造による故障の場合。
3. 火災・地震・水害等の天災地変および異常電圧による故障・損傷の場合。
4. 本製品に接続している当社指定機器以外の機器の故障に起因する故障の場合。
5. 本体以外の付属品(ACアダプター、アンテナ、接続ケーブル等)は含みません。
6. 弊社以外で修理・調整・改良した場合。
7. 消耗品や寿命品(バッテリー含む)の交換の場合。

消耗品・寿命品には下記の商品が含まれます。

各種スイッチ類(リミットスイッチ、押しボタンスイッチ等)

電池・バッテリー(乾電池、ボタン電池等) その他使用により消耗・寿命があるもの

8. 本取扱説明書に記載された使用方法及び注意事項に反するお取扱いによって生じた故障の場合。

#### 初期不良について

製品出荷日より起算し30日以内を製品初期不良期間とします。期間内にお買い上げの販売店、または弊社営業部にご送付いただき、製品確認後、初期不良とみなされた場合は新品交換または修理対応を無償にて行います。

初期不良の場合、送料は弊社にて負担させていただきます。但し、日本国内の送料に限らせていただきます。

日本国外でご購入及びお買い上げいただいた場合の海外輸送費・保険料・関税等の掛かる費用については別途協議の上、決定することとします。

#### 免責事項

本製品の故障や障害、その使用によって生じた直接的・間接的な損害、金銭的損失については一切の責任を負いません。

#### 有償修理対応期間

予備部品の在庫が弊社にある場合に限り、保証期間終了後であっても本製品に対し、生産中止後5年間は有償にて修理対応致します。但し、使用部品の廃止等やむを得ない理由により代替部品の使用又は代替機により対応させていただくことがあります。

#### その他

保証期間に関係なく、修理は調整等測定機器類の必要上、弊社への持ち込み修理を原則とし、持ち込み時に発生する送料等はお客様の負担とさせていただきます。なお、出張修理を行う場合、または保証期間中に代替機が必要な場合は、有償にて承りますのでお買い上げの販売店または弊社営業部までご相談下さい。

修理受付後、弊社技術部門において障害の再現できない場合は、交換・修理を致しかねる場合があります。また、障害の再現をするための技術調査費用を別途請求する場合があります。

弊社WEBSITE上及び弊社が提供しているカタログ、マニュアル又は技術資料、その他の資料に記載されている本製品の情報は、お客様にお断りなく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。



ヘルツ電子株式会社

HERUTU ELECTRONICS CORPORATION

〒433-8103 静岡県浜松市北区豊岡町62-1

(営業部)TEL. 053- 438 - 3555 FAX. 053- 438 - 3411

ホームページ <http://www.herutu.co.jp> E mail [webmaster@herutu.co.jp](mailto:webmaster@herutu.co.jp)